

学校教育目標	心ゆたかに かしこく たくましく ～自律、尊重・感謝～	
目指す学校像	子どもたちが社会で活躍するために、また、幸せな人生を送れるために必要とされる資質・能力を身に付けさせる学校。必要な環境が用意されている学校	
重点目標	1 【学びの質の向上】 ICTを生かした学びの改善、問題解決型学習の工夫改善 2 【子どもの発達・心のサポート】 子どものニーズの把握、困難さへの対応、豊かな心の育成 3 【地域とともにある学校づくり】 コミュニティスクールの推進、積極的な公開 4 【教育環境整備】 計画的な修繕の実施、危機管理の徹底 5 【教職員のキャリア形成】 学校課題研修の充実、働き方改革の推進	※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 運 営 協 議 会 の 評 価			
年 度 目 標			年 度 評 価					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【学びの質の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国や市の学習状況調査結果を分析し、各教科等で授業改善を図る必要がある。 ○児童の資質能力の向上を図るためICTを効果的に活用した問題解決型の授業についてさらに研修が必要である。デジタルとアナログのバランスに留意する。 ○「大砂土東小 STEAMS TIME」を実施されている。教材を変更し、さらに主体的に学ぶことができるような授業を実施したい。 	<p>ICTを生かした自律した学びの充実</p> <p>STEAMS教育の見直し</p>	<p>①全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の結果を分析し、本校児童のよい点、改善が求められる点を明らかにする。それに基づき、支援策を講じる。</p> <p>②「じしゃく(自分で決める。思考する。やってみる。クラウドの頭文字)」をキーワードとする授業を行い、児童主体の学びを行う。</p> <p>③ICTを活用して授業の振り返りを行わせ、学習の状況を把握する。それに基づき、支援計画を変更する。</p> <p>④さいたまSTEAMS (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics, Sports) 教育、特にプログラミング教育の教材、教育課程を見直す。</p>	<p>①教員は本校の特色を把握している。それに基づく支援策を立てている</p> <p>②③教員はICTを生かした、児童主体の学びを行っている。管理職は参観し、必要に応じて指導助言を与えている。</p> <p>■児童は「自分で学び方を考え工夫することができる」に肯定的な回答をする。(児童, 93%→95%)</p> <p>④教員はプログラミング教育の指導について、工夫改善を行っている。</p>	<p>①教員は、子どもたちの傾向に基づく、学習計画の立案、学習支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう姿勢 ・個別最適な学び、協働的な学び <p>②③教員は、個別最適な学びを支援するためのツールとしてICTを活用する。児童主体の学習を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索、プレゼン、学習等のアプリの活用 <p>■児童は、「自分で学び方を考え工夫することができる」に肯定的な回答をする。(93%→93%)</p> <p>④教員は、プログラミング教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力(プログラミング的思考) ・Scratchの活用 ・タイピングの技能 	A	<p>○教員は、引き続き子どもが学び方を考えることができる授業を推進する。合わせて、体験や交流の活動も推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、ICTの効果的な活用についても継続して研修を行う。 ・管理職は、引き続き授業を参観し適切な指導助言を行う。 	<p>学校運営協議会の評価</p> <p>実施日 R8年2月13日</p> <p>学校運営協議会からの意見・要望・評価等</p> <p>仮承認</p>
2	<p>【子どもの発達・心のサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活を肯定的に受け止めることができるよう、児童同士の温かな人間関係の構築を重視していく。 ○いじめ、不登校の問題では、児童の一人ひとりのニーズに迅速に対応できるように、関係機関との情報共有について充実を図っていく必要がある。 ○学校運営委協議会の方々は、不登校について、市が推進する取組(学びの多様化学校など)に期待している。 	<p>子どもたちのニーズの把握</p> <p>子どもたちの困難さへの対応</p> <p>豊かな心の育成</p>	<p>①定期的なアンケート、ICTによる心身の状況報告を活用して、児童に関する情報を迅速に収集する。</p> <p>②生徒指導、教育相談、特別支援教育の3部会の情報を一元化し、迅速に情報を収集する。必要に応じてケース会議、関係機関との情報共有を行い迅速かつ適切に支援する。</p> <p>③いじめ事案またはいじめが疑われる事案を覚知した際、迅速かつ組織的に対応し、いじめ事案の早期解決を図る。被害を受けた児童の気持ちに寄り添って対応する。</p> <p>④教員による支援学級の授業参観を通して、特別支援教育に対する理解を深める。</p> <p>⑤「SoLa るーむ」に関する運用基準を更新し、誰ひとりも取り残されない学校の体制を構築する</p> <p>⑥「励まし、称賛、対話」「自律、尊重と感謝」を軸に、積極的な生徒指導を推進し、自分に自信を持てる子ども、人の役に立ちたいと思う子どもを育成する。合わせて、道徳の時間を充実させる。</p> <p>⑦身近に本を所持させ、読書の楽しさを味わわせる。</p>	<p>①教員は児童に関する情報を迅速に収集している。</p> <p>②学校は必要に応じてケース会議を開催している。</p> <p>③学校はいじめ事案について迅速かつ組織的に対応している。</p> <p>④教員は特別支援教育の理解を深めている。</p> <p>⑤学校は「sola るーむ」の運用基準が更新されている。</p> <p>■児童は「困り事がある時、先生に相談できる」に肯定的な回答をする。(児童, 80%→90%)</p> <p>■児童は「自分にはよい所がある」に肯定的な回答をする。(児童 90%→95%)</p> <p>■児童は「ありがとう」を言うことができる。(児童, 新規, 80%)</p> <p>■児童は「よく本を読む」に肯定的な回答をする。(児童, 66.%→75%)</p>	<p>①教員は、定期的なアンケート、面談、ICTを活用した健康調査、健康観察、一人ひとりへの声かけをとおして、児童自身のこと、児童を取り巻く人間関係、生活環境を把握する。</p> <p>②学校は、いじめ案件への対応策、配慮を要する児童への支援策を適時行った。</p> <p>③学校は、いじめ事案には迅速に対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚知一報告一方針決定一調査を即日 ・被害児童への寄り添い <p>④教員は、特別支援学級を参観した。</p> <p>⑤学校は、「sola るーむ」を円滑に運用することができた。</p> <p>■児童は「困り事がある時、先生に相談できる」に肯定的な回答をする。(80%→95%)</p> <p>⑥教員は、「ありがとう」が習慣化するように継続して指導した。</p> <p>⑦学校は、全児童対象に図書館の本を貸し出した。</p> <p>■児童は「自分にはよい所がある」に肯定的な回答をする。(90%→92%)</p> <p>■児童は、「よく本を読む(読書は好き)」肯定的な回答をする。(66.%→70%)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、今後もあらゆる方法を用いて、困っている児童の情報収集をする。 ・学校は、いじめ案件についても今年度同様、被害児童に寄り添いながら、迅速に、誠実に対応する。 ○学校は、特別支援学級児童と通常学級児童、教職員、地域の方々との交流場面を増やす。 ・学校は、教室での学習に困難さを抱える児童への支援を継続して続ける。(教育相談) ○学校は、先人の知恵、他者の生き様について学ぶ機会を設ける。(道徳、読書活動、ICT) 	<p>仮承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちには規範意識をもってほしい。 ・学校だけの問題でもあろう。学校と家庭が一緒になって取り組んでほしい。 ・事案について、保護者の方には時系列で説明すると理解されやすい。 ○「あいさつ」は、学校・家庭・地域で一緒に取り組んでいくもの。 ・それぞれの発行文書のヘッダーに「挨拶をしましょう」と書き込むのがいいのではないか。
3	<p>【地域とともにある学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の考えを学校・家庭・地域で共有しながら、行事(イベント)を実施したい。 ○学校ホームページの更新に努め、児童の教育活動の様子を更に発信していきたい。 ○読書の取組の充実を図りたい。あいさつにも課題が残る。 	<p>コミュニティスクールの推進</p> <p>積極的な情報発信、教育活動の公開</p>	<p>①「5つのいっぱい(あいさつ、汗、読書、思いやり、歌)」を通して、家庭や地域とともに子どもの心を育てる。</p> <p>②大和田小開校に伴う分校の行事を、子ども中心に地域の方々とともに実施し、地域への愛着心を育む。</p> <p>③HPを定期的に更新し、子どもたちに様子を通して学校教育活動を、家庭や地域の方々に理解していただく。</p>	<p>■児童は「自分の学校が楽しい」に「とてもそう思う」と回答する。(児童 57%→65%)</p> <p>②学校は分校行事を実施した。</p> <p>■児童は「地域の行事に進んで参加している」と肯定的回答をする。(児童 76%→80%)</p> <p>③学校はHPを定期的に更新している。</p>	<p>②学校は、PTAや地域の方々協力して分校記念事業を実施し、学校を大切に育てる。</p> <p>■児童は「自分の学校が楽しい」に「とてもそう思う」と回答する。(57%→59%/全国平均50%)</p> <p>「とてもそう思う・そう思う」は927%(全国87%)</p> <p>■児童は「地域の行事に進んで参加している」と肯定的回答をする。(76%→73%)</p> <p>③学校は、HPを定期的に更新した。学校公開、授業参観を予定の回数を行うことができた。学校安心メール、連絡アプリを使い適時に情報発信した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、「あいさつ」に視点を当てて、豊かな心を育てる。 ○学校は、創立95周年に関わる事業をとおして、学校を大切に育てる。 ・学校は、児童の活動の様子、学校の考え方を理解していただくよう情報発信を強化する。 	<p>仮承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○95周年事業は子ども主体に行う。 ・集会活動 ・写真撮影 等 ○学校の取組を積極的に発信することが必要だろう。
4	<p>【教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食物アレルギー対応については、継続して徹底する必要がある。 ○緊急時対応に関する「フローチャート」の見直しを図る必要がある。 ○教育活動に関わる事故を未然防止しようとする教職員の高い意識を維持していく 	<p>施設・設備の点検と計画的な修繕の実施</p> <p>児童の命に係わる危機管理の徹底</p>	<p>①施設設備の管理状況を点検・整備する日を設定し、教育活動が安全に行われる環境を維持する。</p> <p>②予算会議を毎月実施し、予算執行状況を把握する。</p> <p>③自然災害、アレルギー対応、怪我・感染症対応の危機事案に関する、研修とマニュアル化によって、発生リスクの軽減と発生時の迅速かつ組織的な対応に備える。</p> <p>④安全教育、特に交通安全を重点的に指導する。</p>	<p>①②学校は予算を計画的に執行している。</p> <p>■保護者は「校内環境整備状況」に肯定的回答をする。(保護者 88%→92%)</p> <p>③学校は危機管理に関する研修を計画的に行っている。マニュアルの見直しを行っている。</p> <p>④学校は安全に関する指導を計画的に行っている。</p>	<p>①②学校は、毎月安全点検を実施し修繕方法を検討する。消耗品、備品、修繕等について計画的に予算を執行した。</p> <p>■保護者は「校内環境整備状況」に肯定的回答をする。(88%→87%)</p> <p>③学校は、危機管理に関する研修を計画的に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬送訓練 ・心肺蘇生法 ・不審者侵入対応 ・マニュアルの見直し <p>④学校は、安全に関する指導を計画的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全 ・生活安全 ・防災 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も、命・健康にかかわる修繕を最優先に計画執行を進めていく。 ○学校は、今後も、登下校時に交通安全、生活安全に関する指導を継続的に行ったが、継続する必要がある。 	<p>仮承認</p>

5	<p>【教職員のキャリア形成】</p> <p>○児童に身に付けさせるべき資質能力を育成することができるように研修を実施する。</p> <p>○会議や行事等の精選を行い、教職員が児童と向き合う時間を確実に確保する。</p> <p>○業務改善を継続して実施する。</p> <p>○教職員が情報交流できる場を設け、風通しのよい職場作りを推進する。</p>	学校課題研修の充実	<p>①教員一人ひとりが課題としている事項について主体的に研修を行い、日頃の教育活動に生かす。</p> <p>②児童理解、ICTといった今日的な課題の研修の実施し、日頃の教育活動に生かす。</p>	<p>①教員は自己の課題に応じた研修に主体的に取り組んだ。</p> <p>②教員は児童理解やICTの研修に取り組んだ。</p>	<p>①教員は、自身のステップアップに必要な研修に主体的に取り組んだ。</p> <p>②学校は、困難さを抱える児童について理解する研修、教育活動に有効なアプリの実践的な研修を開催した。</p>	A	<p>○学校は、教員対象の訓練、危機意識を継続して行う必要がある。</p> <p>○学校は、働き方改革を大いに推進する必要がある。(内容、方法の見直し)</p>	仮承認
		働き方改革の推進	<p>③会議の必要性・実施方法を見直し、会議時間を削減することで、教員が子どもと向き合える時間を確保する。</p> <p>④緊急の対応が求められる時案に迅速かつ組織的に対応すること、情報を共有することで、教員の危機意識を高める。</p>	<p>③学校は会議時間を削減することができた。</p> <p>④学校は緊急の対応が求められ事案を通して、教員の危機意識を高めることができた。</p>	<p>③学校は、会議を削減するように試みた。会議時間が延長したり、急遽開催したりすることがあった。</p> <p>④学校は、落雷による施設設備の不具合、感染症の拡大予防など、危機的事案を組織的に対応した。</p>	B		